



【発信日】令和2年2月27日

【問い合わせ先】

大野市役所（2階 22番窓口）

企画総務部政策局総合政策課 真田、加藤

電話 0779-66-1111 内線2510

第六次大野市総合計画 将来像の案

「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」に

～審議会から中間報告なされる～

第六次総合計画の策定に当たりましては、持続可能なまちづくりを進めるためSDGsの考え方を取り入れるとともに、市民と一緒に作り上げる総合計画を目指し、昨年の夏から、地区別ワークショップの開催や市民などへのアンケート調査を実施してきました。

これらの結果を基礎とし課題を共有しながら、これまで、大野市総合計画審議会を2回、策定幹事会を6回開催し、公募委員を含む委員の皆様から総合計画案の策定に向けた、議論を行っていただいています。

2月12日付けで、審議会から中間報告がなされましたので、ご報告します。

記

- 1 将来像 人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち
- 2 計画期間 令和3年（2021年）度から令和12年（2030年）度までの10年
- 3 基本目標分野 「こども」「健幸福祉」「地域経済」「暮らし環境」「地域づくり」「行政経営」の6分野
- 4 その他 3月1日（日）午前10時から市役所2階大会議室において、第3回大野市総合計画審議会を開催し、各分野の基本目標、人口の見通し、土地利用などについて、審議していただきます。

将来像

人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち

市民対象のアンケートで、大野市のキーワードとして、「結」「つながり」という言葉が多かった。「結」という言葉は、昔から、農作業や冠婚葬祭などの様々な仕事をお互いに助け合う習慣のことで、今もこの精神が受け継がれており、この言葉の意味を、「人がつながり 地域がつながる」という表現に置き換え、これからも「結」のところが大切であることを表した。また、「つながる」には、中部縦貫自動車道県内全線開通や北陸新幹線の敦賀開業で各地とつながるという意味が込められており、高速交通体系の大きな変化に対する未来への希望も含まれている。そして、「住み続けたい」という言葉には、今後10年間に人口減少と少子化、高齢化が進み、非常に厳しい状況においても、大野市が「ずっと住み続けたい持続可能なまち」であり続けたいという強い気持ちを込めている。

計画期間

10年間（令和3年度～令和12年度）

※令和12年（2030年）は、SDGsの達成目標年です。

基本目標分野

こども	健幸福祉	地域経済	くらし環境	地域づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て ・保育 ・学校教育 ・家庭教育 ・地域での教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康 ・福祉 ・医療 ・スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業 ・サービス業 ・観光 ・労働 ・工業 ・農業 ・林業 ・内水面漁業 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全 ・地下水保全 ・廃棄物対策 ・都市計画 ・道路 ・上下水道 ・公共交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・人づくり ・地域での支え合い ・公民館 ・文化、芸術 ・移住 ・交流 ・防災 ・消防 ・防犯
行政経営				
<ul style="list-style-type: none"> ・市民サービス向上 ・市と市民の情報共有 		<ul style="list-style-type: none"> ・市と市民の協働 ・次世代技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革 ・財政運営 	

令和元年度 会議の開催状況

6月 2日 (日)	第1回大野市総合計画審議会
7月16日 (火)	第1回第六次大野市総合計画策定幹事会
10月 4日 (金)	第2回第六次大野市総合計画策定幹事会
11月28日 (木)	第3回第六次大野市総合計画策定幹事会
12月12日 (木)	第4回第六次大野市総合計画策定幹事会
12月22日 (日)	第2回大野市総合計画審議会
1月23日 (木)	第5回第六次大野市総合計画策定幹事会
2月17日 (月)	第6回第六次大野市総合計画策定幹事会
3月1日 (日)	第3回大野市総合計画審議会 (予定)